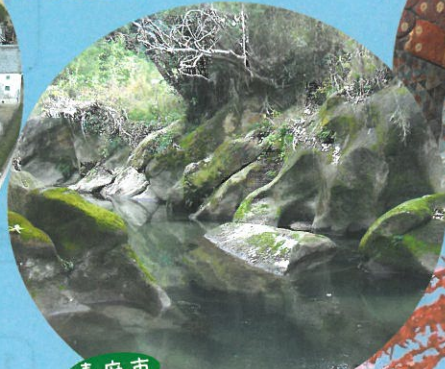


ふるさと筑豊のまちおこしに、文化・自然遺産の活用を

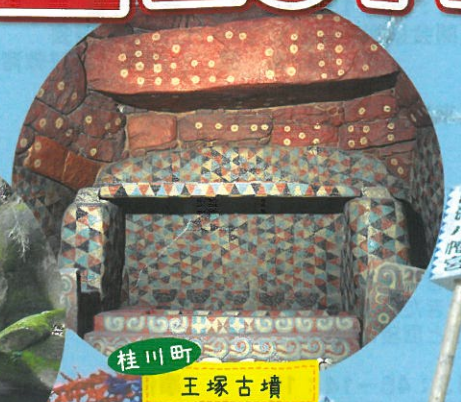
掘ったバイ筑豊2011



飯塚市
旧伊藤伝右衛門邸



嘉麻市
千手川のおう穴群



桂川町
王塚古墳



川崎町
藤江氏魚樂園



添田町
英彦山神宮奉幣殿

【シンポジウム】
『文化遺産の活用と地域活性化に向けて』

日時 平成23年12月3日(土)
13:00~

場所 赤村住民センター大ホール

【赤村文化財めぐり】

日時 平成23年12月4日(日)

主催：筑豊文化財行政連絡協議会 赤村教育委員会
後援：福岡県教育委員会

「筑豊」の魅力彩発見



掘ったパイ 2011 シンポジウム
 「文化遺産の活用と地域活性化に向けて」講演次第
 日時：平成23年12月3日(土) 13:00～
 場所：赤村住民センター大ホール(赤村役場内)

13:00～13:15 **開会行事**
 (開会挨拶) 筑豊文化財行政連絡協議会
 会長 原 数美 (赤村教育委員会 教務課長)

(来賓挨拶) 赤村長 春本 武男

13:15～13:45 **事例報告①**
 (講師：久山町教育委員会教育課 江上智恵氏)

久山町は首羅山遺跡の国指定文化財へ向けた調査の中で、研究者・県・地域・学校等との「連携と情報の共有」に取り組んできた。今回はこれまで町が取り組んできた事例や、今後の活用と展望について報告する。

13:45～14:15 **事例報告②**
 (講師：柳川市教育委員会生涯学習課 堤伴治氏)

柳川市は水郷の街としてのイメージが定着し、観光客で賑わいをみせている。その一方で文化財の保護や文化的景観の保全と活用に関し、様々な課題を抱えている。柳川市の取り組みと課題について報告する。

14:15～14:45 **事例報告③**
 (講師：飯塚市教育委員会 嶋田光一氏)

飯塚市は伊藤伝右衛門邸をはじめ炭坑関連の文化遺産が注目されている。飯塚市ではこれらを活用して観光資源開発等に取り組んでいる。こうした中にはどのような長所、短所があるのか報告する。

14:45～15:15 **事例報告④**
 (講師：添田町教育委員会 岩本教之氏)

英彦山国定公園を擁する添田町は、多くの文化遺産・自然遺産に恵まれている。近年これらを活用した取り組みが町内外で注目され、今後の活動が期待される。これまでの実績とこれからの展望を報告する。

15:15～15:30 **休憩**

15:30～17:00 **パネルディスカッション**
 (コーディネーター：赤村教育委員会 松浦)

※事例報告①～④の講師が登場し、筑豊地方の文化・自然遺産にはどのような特徴があるのかを討論する。また、筑豊以外で生活する人々には「筑豊」とはどのように写るのかを理解しつつ、これからの筑豊地方で取り組む文化遺産を活用したまちおこしはどのような方向性があるのかを模索する。

17:00～17:15 **閉会行事**
 (総評) 赤村教育委員会 教育長 吉田耕一

赤村文化財巡り(平成23年12月4日 日曜日 9:00～)

9:00～10:00
 石坂トンネル(国登録有形文化財)とその周辺の見学(岩嶽稲荷大明神、石坂渓谷)



10:15～11:00
 蛇巻岩の見学(県道から徒歩で移動、移動時間は10分程度)



11:30～12:00
 油須原駅の見学(昼食には油須原駅の駅弁を提供、1個600円程度)



12:00～13:30
 赤駅に移動、昼食および赤村トロッコ油須原線に乗り



13:45～14:00
 我鹿八幡神社見学



14:15～14:45
 正福寺(楼門、大銀杏、ホヤホヤ面等の見学)

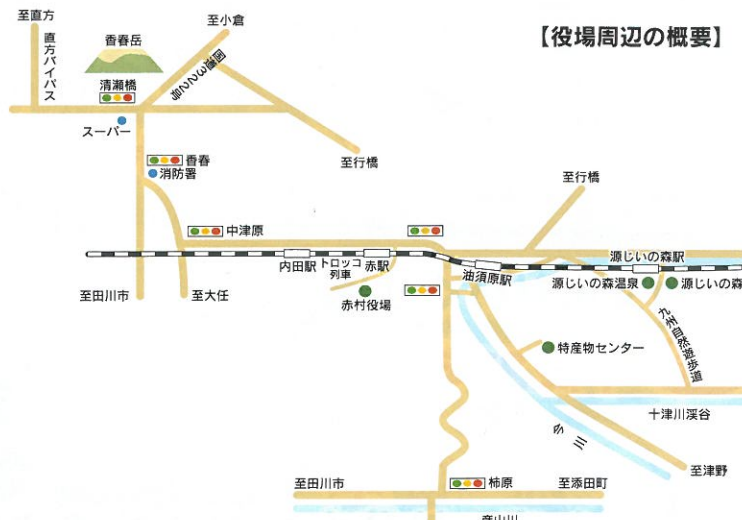
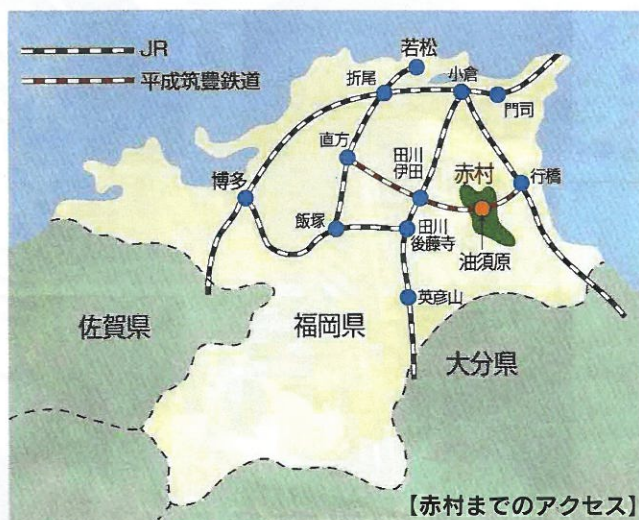


15:00～15:15
 内田三連橋梁(国登録文化財)の見学



15:30
 源じいの森にて解散

※移動はマイクロバスによる(保険料は100円)。



※お問い合わせ：赤村教育委員会 教務課社会教育係 担当松浦 (0947-62-3003) まで